

釧路南ロータリークラブ会報

第38回 例会報告 2013.4.19 通算1486回

・点 鐘 森江会長

・幹事報告

・ロタリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 長江 勉会員



- * 第7・8分区の各RCより、4月のプログラムと3月の会報を拝受しております。
- * 旭川モーニングRC20周年記念式典・祝賀会の案内が届いております。
- * 清水RC50周年記念式典・祝賀会の案内が届いております。
- * 第23回日本ロータリー新睦ゴルフ北海道大会の案内が届いております。

・会長挨拶



家庭集会開催、ご苦労様でした。

Aグループは4月12日(金)・Bグループは4月16日(火)、両方共出席いたしましたが、とても中身の濃い家庭集会であり、今後のクラブ運営に欠かせない話が沢山でまして、とても良い家庭集会でした。26日(金)から韓国友好クラブRI3590地区新晋州(セイチンジュウ)RC会員と居冒(コチャン)の地区大会に参加する為、当クラブの例会を欠席しますので宜しくお願い致します。当クラブより、森江、長江、工藤、佐藤(了)の4名の会員で訪問して参ります。

・委員会報告

出席委員会

会員24名 13名出席 メーキャップ12名
家庭集会20名 出席率188%

・本日のプログラム

「家庭集会報告」

担当 クラブ管理委員会

◆佐野 実委員長挨拶



この度の家庭集会はAグループの座長に木内さん、Bグループの座長には長倉さんをお願いして開催して頂きました。

今日は両グループより発表をして頂くことに成っておりますので、Aグループより発表をお願い致します。

◆Aグループ発表



座長 木内 会員 発表者 佐藤 了 会員
平成25年4月12日(金) 18時30分から
場所：鴨とり権兵衛にて

出席者：森江洋之会長・高橋康成副会長・長井一広幹事・安藤整治会員・長江 勉会員・佐藤玄史会員・佐野 実会員・木内治彦会員・佐藤 了会員・前田裕治会員・阪根 太会員・亀井麻也会員

以上12名参加

プログラム

- 1、報告者の選任
- 2、会員増強について
- 3、クラブ運営に対する意見及び次年度への要望等
- 4、その他

以上の議題で、木内会員 A グループ座長の司会・進行で始まり、平成 25 年 4 月 19 日、本年度第 38 回例会プログラム「家庭集会」の報告者として私、佐藤 了会員が座長より指名を受け本日発表しております。

続きましてプログラム2、会員増強に付いて木内座長より、自身会長年度から2名、平成 24 年福井会員1名、森江現会長3名、高橋現副会長1名共今季スポンサーとこの3年超で7名の会員が入会しているが、自然退会減で現在の会員数は24名です。クラブ運営や活動費など、まず30名位の会員数は

最重点目標と思うとの意見で始まりました。

次に自由に付いた席順に、会員増強の取り組みを発表との事で、次に佐野会員よりクラブ管理委員長として会員増強・退会者の防止は活動計画の重点目標であり、クラブ運営の面からも支障が出ない様に会員増強は絶対必要で、他の会合等に出席の折には人選と共に、声掛けはしているとの事でした。

安藤委員より、本年度も残り3ヶ月弱と成って来て、気持ちは有るが相手を見ると声掛けが、おそろかに成るものの当クラブの周年記念行事や、IMなど担当クラブに成った時を思うとクラブ運営に適正な会員数を、計画的に増員が必要であると実感しているとの話でした。

前田会員や阪根会員、又、女性の亀井会員は新人会員と言う事もあり、声掛けの反応にロータリークラブに対する格式の高さや、会費が高いという現実の面に直面しており、他の会合は回数を減らしたり、会費を下げるなどと苦勞して居るのも現状との事で、女性へのアプローチで会員増強に繋がればとも声掛けしますが、実際女性ならではの弊害も多く、強く拒否される事が多く萎縮するとの話も出ました。

会員増強議題の締めとして、木内座長から当クラブチャーターメンバーの息子さんに入会のお願いや、声掛けした方にまず夜間例会などに参加して頂き、当クラブのアットホーム的な雰囲気を感じて頂くのも大事ではと、最後に自然退会の折には必ず1名以上の入会をお願いし、本人がスポンサーで入会した会員の退会防止にも努めて貰うなどの意見で食事に入りました。

乾杯と会食に入り、情報の交換や雑談をしながら議題3、4、と入りました。

前年度6月末の当クラブ30周年も無事終了し、本年度3月16日のIMも大変素晴らしいと高総評を頂き、当クラブ全会員の結束力に改めて満足したとの話ができました。

クラブ運営や意見の中、長江会員から各クラブ会員の高齢化や、若年会員の絶対減少で他クラブとの合同例会など、将来を考える時期も来ているのでは、としながらもクラブの性格や人間関係・適正会員数や人数だけ増えて支障が出て、との考えもできました。

佐藤玄史次年度会長から、例会発表の翌日(20日・土)は会長エレクト・研修・セミナー(PETS ペッツ)で21日(日)は地区協議会と、本日出席会員にそれぞれの参加の確認等の話が出ました。

また森江会長より、26日（金）から当クラブより4名の会員が韓国友好クラブ RI3590 地区 新晋州（セイチンジュウ）RC 会員と居冒（コチャン）地区大会に参加する為、当クラブの例会を欠席する事と、留守中のお願いが有りました。

次年度、佐藤玄史会長より間もなく会長方針を発表をしますので、クラブ活動計画書の写真他、会員名簿の確認作業協力のお願いが有りました。

最後に、次年度の会長・幹事・役員に対し、歴代経験者の協力・アドバイスは惜しまないとの意見が出まして、時間を少し超過し有意義にAグループの家庭集会を閉会しました。

◆Bグループ発表



日時：4月16日火曜日

場所：パコー階の旬鮮もりやで行われました。

参加者：森江会長、福井会員、和田会員、佐藤玄史会員、工藤ゆかり会員、清水会員、長倉会員、小川会員（8名参加）

・会員増強について

森江会長が頑張っている。現在4名の増員。退会者をなくす。若い会員、女性会員を増やしていくのがいい。職業分類の空白部分を埋める。新入会員の入会でクラブが若返った。リストアップに力を入れた。会員増強は話だけで終わっている。プロジェクトチームも進まない。何人か複数人で行動する事が必要。家庭集会の話が実行されない。増強プロジェクトは長期委員会にする必要がある。

委員会が新任される際は、一部の委員は残して継続性を保つ。2,3ヶ月に一回は、例会で経過報告をする必要がある。知っている人がいると入りやすいし、居心地がいいので知っている人からのアプローチが必要。会費は高いが、2分割で払えるというのは、負担的に安心感があるので伝えるのも有効。プロジェクトは絵に書いた餅。意識の問題だと思う。首根っこ捕まえてこなければ無理。やり方がぬるい。根室西のように、長期に渡って会員増強に関わる3名ほどの意識の強いチームを作る。継続的な会員増強していくシステム化が必要。JC会議所青年部等からターゲットを探す。

・クラブ運営について

奉仕活動については、引き続き植樹とドクターヘリのフライングスーツを継続していこう。市立病院に職場訪問に行き、屋上のヘリポートに行ってみよう。マンネリ化した例会を少し変わった例会もいいのでないか。カヌーに乗る例会地域を再認識する自然を探求する例会があってもいいのではないか？

以上、
会員増強の意識のある長期委員会や、例会での経過報告等具体案は実行する方向で検討しては同でしょうか？市立病院への職場訪問は、今年度実行できるよう検討しては？



・次回のプログラム

4月26日（金）

「会員ミニ卓話」

会場 釧路東急イン

担当：会報委員会

・点 鐘

森江会長

今週の会報担当：長江勉会員